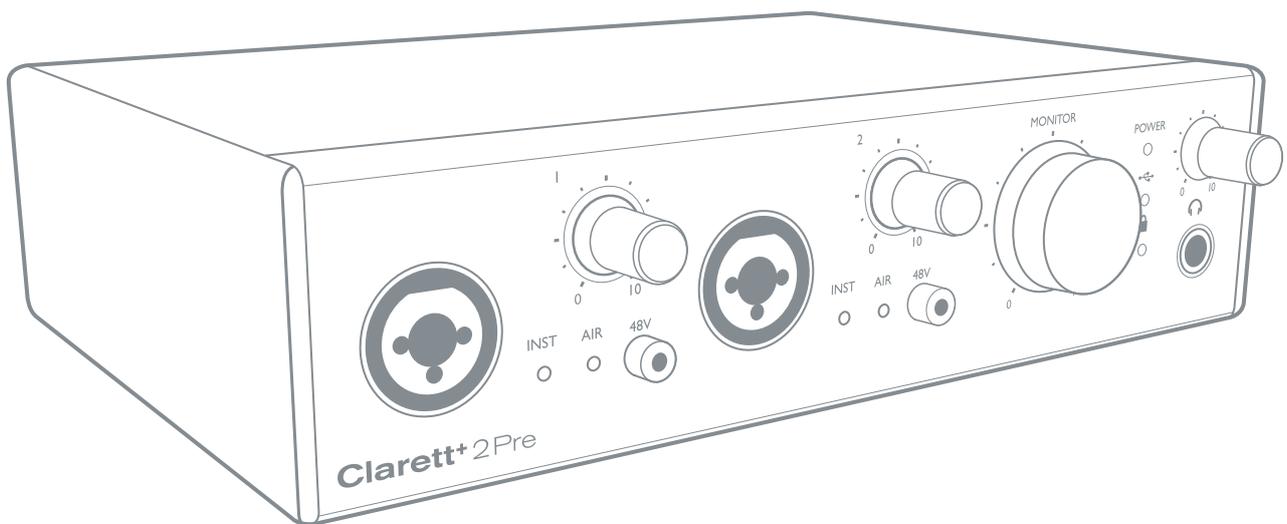


Clarett+ 2Pre

ユーザーガイド



目次

| | |
|---|-----------|
| 概要 | 3 |
| はじめに..... | 3 |
| 特徴..... | 4 |
| 同梱物..... | 5 |
| システム要件..... | 5 |
| さあ、始めましょう | 6 |
| ソフトウェアのインストール..... | 6 |
| Clarett+ 2Preの製品登録..... | 6 |
| 各部の名称と特徴..... | 8 |
| フロントパネル..... | 8 |
| リアパネル..... | 9 |
| Clarett+ 2Preを接続する..... | 8 |
| コンピュータのオーディオセットアップ..... | 10 |
| DAWのオーディオセットアップ..... | 10 |
| Clarett+ 2Preをスピーカーに接続する..... | 11 |
| 使用例 | 13 |
| 1. ソロアーティストのレコーディング..... | 13 |
| 2. オプティカル接続の使用..... | 15 |
| 3. Clarett+ 2Preをステージ上のマイクプリアンプとして使用する..... | 16 |
| FOCUSRITE CONTROL - 概要 | 17 |
| CLARETT+ 2PRE技術仕様 | 18 |
| 性能仕様..... | 18 |
| 物理的特性と電気的特性..... | 19 |
| トラブルシューティング | 20 |
| 著作権表示と法定通知 | 20 |

概要

警告:イヤフォンやヘッドフォンからの音圧レベルが高すぎると、聴力障害を引き起こす恐れがあります。

警告:本機は、USB 2.0以上、もしくはThunderbolt 3.0以上のポートにのみ接続可能です。

はじめに

Clarett+ 2Preをご購入いただき誠にありがとうございます。本機は、驚くほどピュアなサウンドであなたの創造性を導く、Windows/Mac用のバスパワー対応オーディオインターフェースです。独立したA-DおよびD-Aコンバーターは、音楽をこれまで以上に身近なものにします。D-A変換のダイナミックレンジがさらに進化し、サウンドを忠実に再現します。

本ユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解していただくために、本体について詳しく説明しています。Clarett+ 2Preが持つ全ての機能を理解するため、本ガイドを最後までよくお読みいただくことを推奨します。

重要:本ユーザーガイドに加え、**Focusrite Controlソフトウェアガイドをお読みいただくことを推奨します。**ソフトウェアガイドは、focusrite.com/downloadsよりダウンロードが可能です。

Focusrite Clarett+シリーズと併用するために開発されたソフトウェアアプリケーション **Focusrite Control**に関する全ての詳細が記載されています。

これらのユーザーガイドから必要な情報が得られなかった場合は、次のURLをご参照ください：support.focusrite.com本ガイドに記載されていない情報やチュートリアルが紹介されています。また「Getting Started」ビデオチュートリアルは次のURLより視聴できます。

focusrite.com/get-started/ClarettPlus-2Pre

特徴

Clarett+ 2Prelは、高ヘッドルーム、低ディストーション、低ノイズを実現した次世代の高性能Clarett+プリアンプを2基搭載します。A-DおよびD-Aコンバーターが新たに進化し、より精度の高いレコーディングが可能になりました。独立駆動するA-DおよびD-Aコンバーターは、超低ノイズ、低ディストーション、高ダイナミックレンジを実現します。Focusrite ISA 110プリアンプをエミュレートしたフルアナログ回路によるAirモードにより、ボーカルを際立たせることができます。ギターアンプの入力を再現した超高インピーダンスのJ-FETインストゥルメント入力は、オーディオ帯域が極めて広くギター本来のトーンをそのままキャプチャーします。

付属のソフトウェア**Focusrite Control**を使うことで、一般的なレコーディングに最適なルーティングを簡単に設定できます。また複雑なセットアップにも対応し、充実したルーティングおよびモニタリングオプションを提供します。**Focusrite Control**は、focusrite.com/downloadsからダウンロードが可能です。

iPad および iPhone のユーザーの方は、[Focusrite iOS Control](#)をApp Store®よりダウンロードできます。コンピュータ上で実行されている**Focusrite Control**とWiFi経由で通信することで、iOSデバイスからモニターミックスを調整できるアプリです。詳細は、**Focusrite Control**ユーザーマニュアルをご参照ください。

同梱物

Clarett+ 2Pre には以下が付属します：

- 外部12V DC 電源ユニット (PSU)
- USB-C to USB-A ケーブル
- USB-C to USB-C ケーブル

Focusrite Controlは、focusrite.com/downloadsよりダウンロードできます。Windowsで**Focusrite Control**を使用する場合は、ドライバーのインストールが必要です。Macの場合は、Clarett+ 2Preがクラスコンプライアント機器として動作するため、ドライバーのインストールは不要です。

Clarett+には、サードパーティー製のソフトウェアが付属しており、focusrite.com/included_software/ClarettPlus-2Preで確認できます。

システム要件

重要 – Clarett+シリーズに対応するコンピュータとオペレーティングシステムに関する最新情報は、以下のリンクをご覧ください。
support.focusrite.com

さあ、始めましょう

ソフトウェアのインストール

Clarett+ 2Preの動作に必要な**Focusrite Control**およびドライバーソフトウェアは、Focusriteのウェブサイトよりダウンロードできます：focusrite.com/downloads

Downloadsページの機種選択メニューにある**Clarett+シリーズ**からお使いの機種を選択すると、対応するダウンロード可能なすべてのファイルが表示されます。



お使いの環境に対応する**Focusrite Control** をダウンロードするには、該当する**Download**ボタンをクリックします。

Windowsドライバーは、**Focusrite Control**のダウンロードファイルに同梱されています。Macでお使いの場合は、ドライバーのインストールは不要です。

Clarett+ 2Preの製品登録

以下の手順で不明な点がある場合は、こちらの動画ガイドをご覧ください。
focusrite.com/get-started/ClarettPlus-2Pre.

1. focusrite.com/register/にアクセスします。



2. Focusrite/Novationアカウントをお持ちでない場合は、**CREATE AN ACCOUNT**を選択し、画面の指示に従ってアカウントを作成します。

3. アカウントをお持ちの場合は、ログイン後、**REGISTER A NEW PRODUCT**を選択します。



4. **Product**ドロップダウンリストからお使いのClarett+製品を選択し、ページ下部に製品のシリアル番号を入力します。シリアル番号は、Clarett+ 2Pre本体の裏面、または製品の箱に記載されています。入力後、**Set Serial Number**をクリックします。

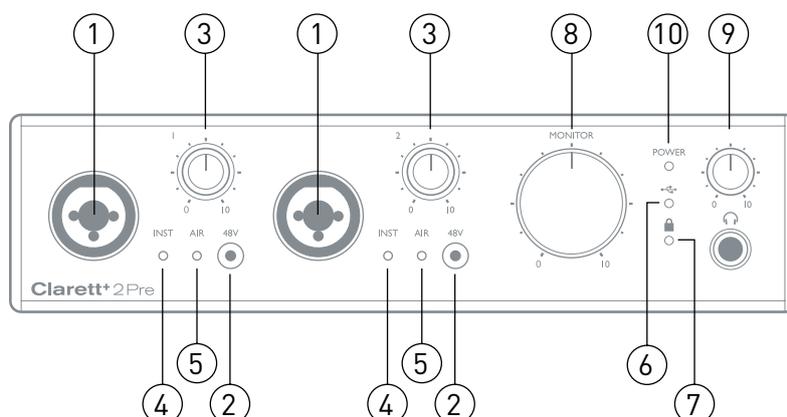
5. 画面の指示に従って製品の登録を完了してください。

6. 登録が完了すると、アカウント内の**My Hardware** タブに製品が表示されます。

7. 付属のソフトウェアは、**My Software**タブにて確認できます。

各部の名称と特徴

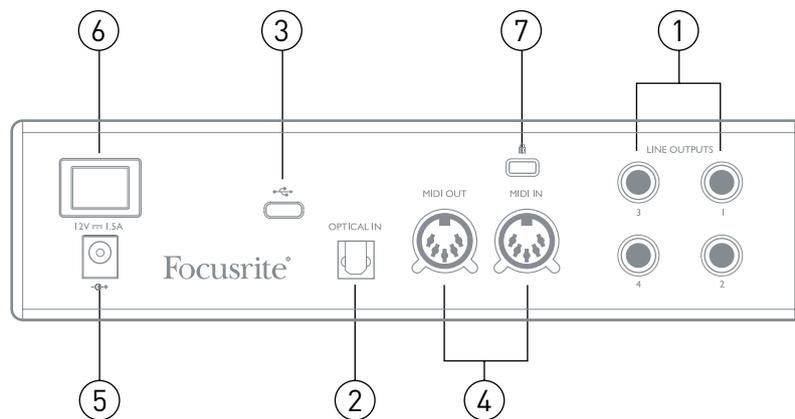
フロントパネル



フロントパネルには、マイク、ライン、楽器信号用の両チャンネルの入力ゲインコントロールおよび入力コネクタと、モニタリングコントロールが備わっています。

1. **INPUT 1 & 2** – 各チャンネルに備わったコンボ XLR 入力ソケット - XLR コネクタでマイクを、あるいは1/4インチジャックで楽器 (ギターなど) またはラインレベル信号を接続します。楽器またはラインレベル信号には、TRS (バランス) または TS (アンバランス) ジャックプラグのどちらか一方を使用することができます。
2. **48V** – マイク入力1および2のコンボコネクタにあるXLR接続部で48Vファンタム電源を個別に有効にするスイッチ。ファンタム電源がオンのとき、各スイッチのLEDが赤色に点灯します。ファンタム電源は、すべてのマイクに必須ではありません。お使いのマイクにファンタム電源が必要か不明な場合は、マイクの取扱説明書を必ずご確認ください。
3. **ゲイン 1 および 2** – 2つのロータリーコントロール: Input 1 および 2 に適用される信号の入力ゲインを調整します。LEDを備えたゲインコントロールでは、信号レベルを確認することができます。緑色の点灯は、-42dBFS以上の入力レベルが検出された (「信号あり」) ことを示します。信号レベルが-6dBFSに達するとオレンジ色に、0dBFSでは赤色に変化します。
4. **INST – Focusrite Control**ソフトウェア上でInput 1 および2にインストゥルメントモードが選択されている際に点灯する2つのLED。インストゥルメントモードが選択されると、ライン入力は2極 (TS) ジャックプラグによる楽器接続に適した高インピーダンス/アンバランス入力に変換されます。
5. **AIR – Focusrite Control**で各入力のAIR機能を有効にしたときに点灯する2つの黄色のLED。AIR機能は入力部周波数特性を変更し、トランスフォーマーによる伝統的なFocusrite ISAマイクプリアンプをエミュレートします。
6.  (USBが有効) – 本体がホストコンピュータとの接続を認識すると、緑色のLEDが点灯します。
7.  (ロック) – Clarett+ 2Preの内部クロックまたは外部デジタル入力のいずれかに対するクロック同期を示す緑色のLED。
8. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール– 通常はこのノブにて、リアパネルのメインモニター出力のレベル調整を行います。**Focusrite Control**で設定することで、2系統のアナログ出力ペアのレベルを同時に調整することもできます。
9.  (ヘッドフォン) – コントロールの下の1/4インチ TRS ジャックソケットにステレオヘッドフォンを接続します。ヘッドフォン出力では、常に**Focusrite Control**のアナログ出力3および4 (ステレオペア) にルーティングされている信号が伝送されます。
10. **POWER** – DC電源が接続されている場合、緑色のLEDが点灯します。

リアパネル



- 1. LINE OUTPUTS 1 - 4** – 1/4インチジャックソケットで構成される4つのバランスアナログライン出力。バランス接続にはTRSジャックを、アンバランス接続にはTSジャックを使用します。LINE OUTPUTS 1および2は、モニタリングシステムのメインL/Rスピーカーを駆動するために使用され、OUTPUTS 3および4は、追加のラインレベル機器（例：アウトボードFXプロセッサなど）の接続に使用されます。全ての出力にルーティングされる信号は**Focusrite Control**で設定が可能です。
- 2. OPTICAL INPUT** – サンプルレート44.1/48 kHzで8つ、88.2/96 kHzで4つのデジタルオーディオチャンネルをADATフォーマットで伝送するTOSLINKコネクタ。176.4/192 kHzでは無効となります。オプティカルS/PDIFソースにも対応します。
- 3.** USB-C™ コネクタ。付属のUSB-C to USB-CまたはUSB-C to USB-Aケーブルを使用してClarett+ 2Preをお使いのコンピュータへ接続します。
- 4. MIDI INおよびMIDI OUT** – 外部MIDI機器を接続するための標準5ピンDINソケット。コンピュータとMIDIデータをやり取りし、追加のMIDIデバイスに分配することができます。
- 5.** 外部DC電源入力 – Clarett+ 2Pre付属のACアダプタ (PSU) を接続します。ACアダプタは、12V DC、1.5 A仕様。Clarett+ 2Preは、コンピュータの15 W USB Type-C™ポートからも電源を供給できます。[Clarett+ 2Pre USB Bus Power Information](#)で、対応するポートがお使いのコンピュータに搭載されているかを確認できます。対応のポートが搭載されていない場合は、付属のACアダプタをご使用ください。
- 6.** 電源オン/オフスイッチ。
- 7.** ケンジントンセキュリティスロット – 必要に応じて、Clarett+ 2Preにセキュリティ対策を施すことができます。

Clarett+ 2Preを接続する

The Clarett+ 2Preは、USB-C™ポートをリアパネルに備えます。ソフトウェアのインストールが完了したら、付属のUSB-Cケーブルを使用してClarett+ 2Preをコンピュータに接続します。

Clarett+ 2Preは、付属のACアダプタ (PSU) もしくは15 W仕様のUSB-C™接続のいずれかで駆動します。[Clarett+ 2Pre USB Bus Power Information](#)で、対応するポートがお使いのコンピュータに搭載されているかを確認できます。

電源スイッチをオンにして、本体の電源を投入します。

コンピュータのオーディオセットアップ

Clarett+ 2Preをコンピュータに初めて接続する際は、Clarett+ 2Preをオーディオ入力/出力機器として選択する必要があります。

- **MacOS:** **システム環境設定** > **サウンドの入力および出力**タブの両方で、Focusriteデバイスを選択します。
- **Windows:** **コントロールパネル** > **サウンド**で Focusrite デバイスを右クリックし、「**既定のデバイスとして設定**」を**録音**および**再生**タブの両方で選択します。

Clarett+ 2Preをオーディオデバイスとして選択する方法について不明な点がある場合は、focusrite.com/get-started/ClarettPlus-2Preをご参照ください。

初回接続時、Clarett+ 2Preはデフォルトのオーディオデバイスとして認識されます。

DAWのオーディオセットアップ

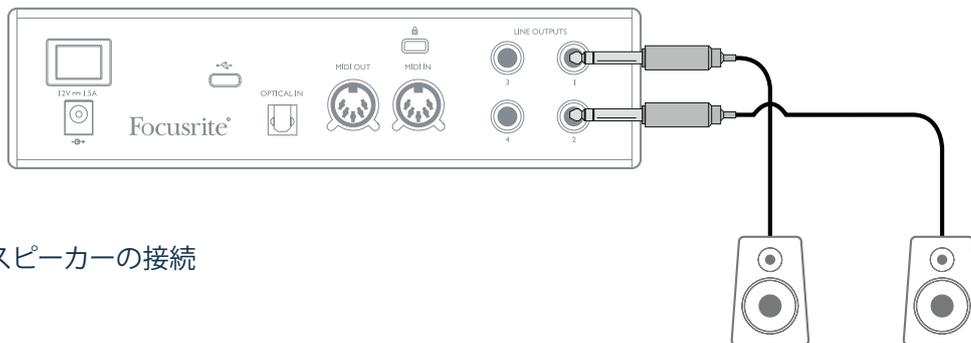
ドライバーをインストールして本体を接続すると、Clarett+ 2PreがDAWで使用可能になります。

注意 - お使いのDAWによっては、Clarett+ 2PreがデフォルトのI/Oデバイスとして自動的に選択されないことがあります。この場合は、DAWの**オーディオ環境設定***画面でドライバを手動で選択する必要があります。Macの場合は**Focusrite 2Pre USB**、Windowsの場合は**Focusrite USB ASIO**を選択してください。オーディオデバイスの設定方法に関する詳細は、お使いのDAWのマニュアル(またはヘルプファイル)をご参照ください。

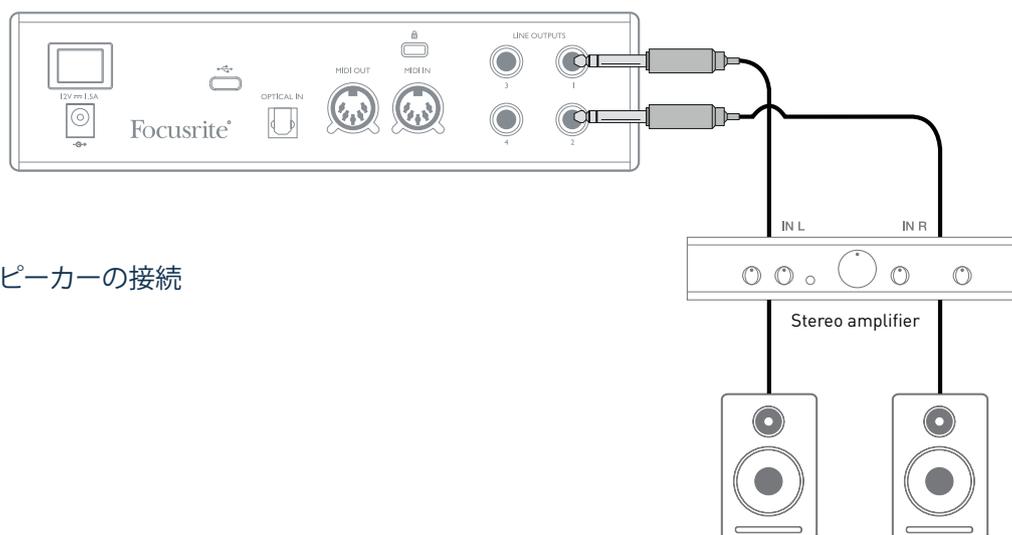
*一般的な呼称 - DAW によって異なる場合があります

Clarett+ 2Preをスピーカーに接続する

リアパネルの1/4インチジャック**LINE OUTPUTS 1**および**2**は、通常モニタースピーカーの出力として使用されます。アクティブモニターの場合は、アンプが内蔵されているため直接接続することが可能です。パッシブモニターの場合は、別途ステレオアンプが必要となり、本体の出力をアンプの入力部に接続してください。



アクティブスピーカーの接続



パッシブスピーカーの接続

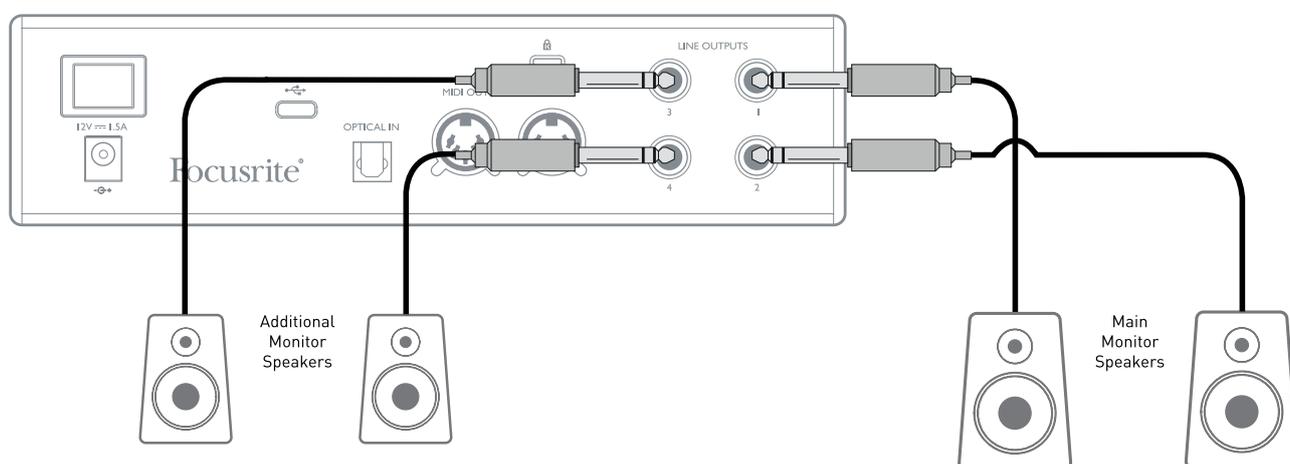
プロフェッショナル用機器には、一般的にバランス入力が備わっています。アンプまたはパワードスピーカーにバランス入力が備わっている場合、3極 (TRS) 1/4インチジャックを使用してClarett+ 2Preと接続します。

ライン出力コネクタは、全て3極 (TRS) 1/4インチジャックソケットのバランス接続です。一般的な家庭用 (Hi-Fi) アンプや小型のパワードモニターは、RCAソケットによるアンバランス入力を備えています。

2組のモニターに接続する

Clarett+ 2Preの4系統のライン出力を用いて、2組のモニタースピーカーへの出力も可能です。各出力レベルは、**Focusrite Control**で個別に調整するか、フロントパネルのMONITORノブでまとめて調整できます。

LINE OUTPUTS 3および4 (下図では2組目のモニタースピーカー) に送られる信号は、ヘッドフォン出力にも送信されます。Clarett+ 2Preには、スピーカー切り替え機能が搭載されていません。スピーカーを切り替えて出力するには、サードパーティー製のハードウェアをお使いください。



重要:

LINE OUTPUTS 1 および **2**は、スピーカー保護回路を備えています。スピーカー (およびアンプ) が接続されアクティブな状態でClarett+ 2Preの電源が投入された場合でも、保護回路が機能し接続機器の損傷を防ぎます。

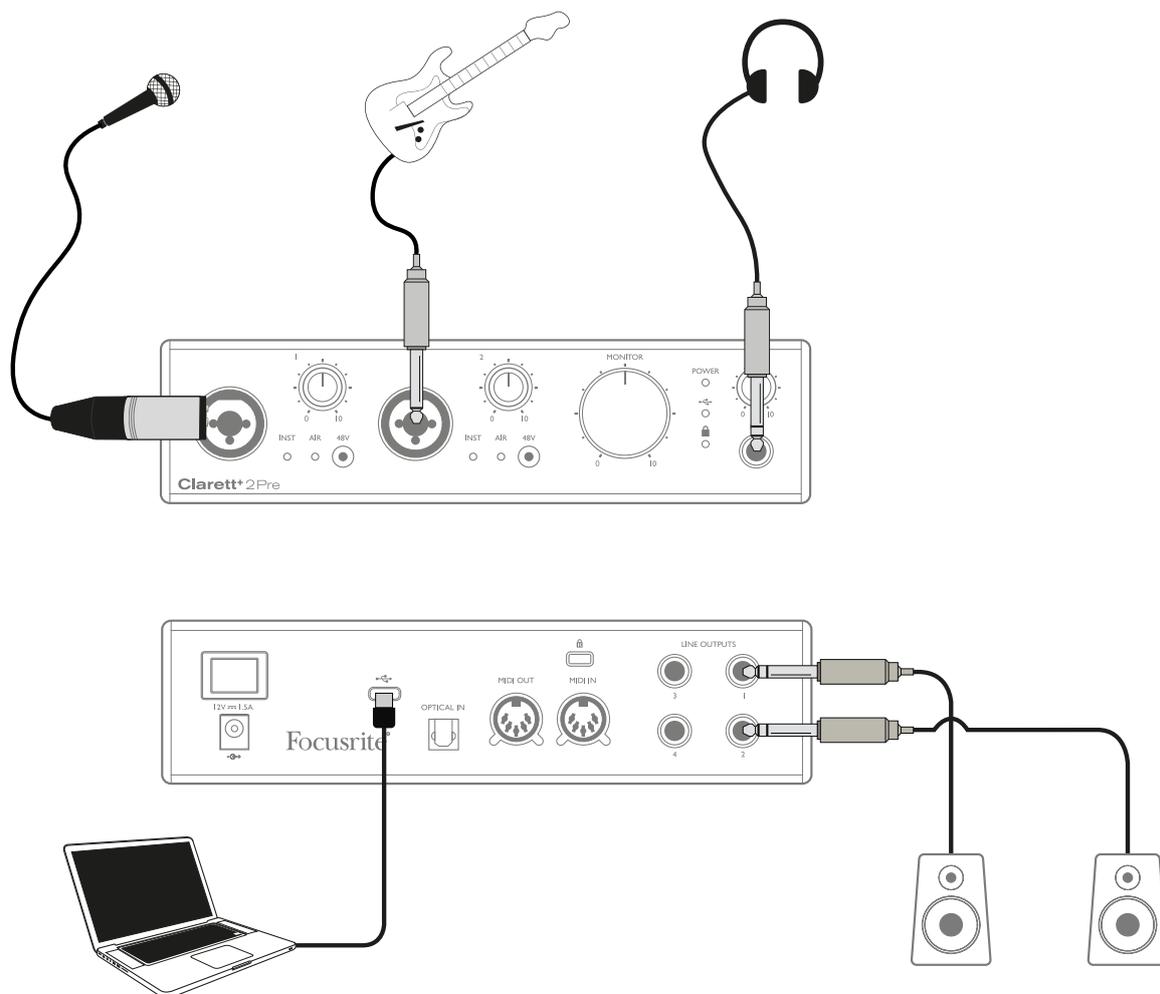
LINE OUTPUTS 3および**4**には、保護回路が搭載されていません。これらの出力に2組目のスピーカーを接続する場合は、最初にClarett+ 2Preの電源を投入してから、スピーカー (またはアンプ) の電源を投入してください。

いかなる環境においても、オーディオを供給する機器の電源を入れた後で、スピーカーシステムの電源を入れる習慣を身につけることをお勧めします。

使用例

Clarett+ 2Preは、多くのレコーディングおよびモニタリングアプリケーションにとって優れた選択肢となります。ここでは、代表的な接続例をいくつかご紹介します。

1. ソロアーティストのレコーディング



このセットアップでは、コンピュータ上の DAW ソフトウェアを使用して行うマルチトラックレコーディングの一般的な構成を示しています。

このセットアップでは、マイクとギターの2つの音源がClarett+ 2Preの入力部に接続されています。ギターをInput 2に接続する場合は、**Focusrite Control**でInput 2をINSTモードに設定し、**INST**のLEDが点灯していることを確認してください。

DAWソフトウェアを実行しているコンピュータには、USBケーブルを使用して本体が接続されています。これにより、DAWとClarett+ 2Pre間で全ての入出力信号が伝送されます。DAW内でオーディオセットアップを適切に行うことで、各入力ソースをDAWに録音することができます。

録音したトラックのミックスは、LINE OUTPUTS 1および2経由でスピーカーから聴くことができます。

ボーカルや楽器のバランスを自由に調整することもできます。**Focusrite Control**を使い、リアルタイムの入力信号と録音済みのDAW再生トラックで構成されるモニターミックスを、好みのバランスに調整して送信できます。

演奏用に作成したステレオモニターミックスは、OUTPUTS 3および4に簡単にルーティングすることができ、Clarett+ 2Preのヘッドフォンソケットを使用して聞くことができます。モニターミックスを複数のミュージシャンに同時に送る必要がある場合は、リアパネルのライン出力を使用してヘッドフォンアンプにミックスを送ることも可能です。

入力信号を直接モニターする場合は、DAWの録音チャンネルのモニター出力をミュートにしてください。ミュートされていないと、ダイレクト信号とDAW経由の入力信号の両方がミュージシャンに送られてしまいます。

モニターミックスの設定に関する詳細は、**Focusrite Control**ユーザーガイド (focusrite.com/downloadsからダウンロード可能) をご参照ください。

レイテンシーについて

デジタルオーディオシステムに関連して「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあるかと思います。上記のようなDAWレコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーとは、入力信号がお使いのコンピュータおよびオーディオソフトウェアを通過し、オーディオインターフェース経由で再度戻ってくるまでにかかる時間を指します。

ほとんどのレコーディングでは問題になりませんが、入力信号をモニタリングしながらレコーディングを行いたい場合は、レイテンシーが問題となる場合があります。多くのDAWトラックやソフトウェアインストゥルメント、エフェクトプラグインを使用した大規模なプロジェクトでオーバーダブを行う場合は、DAWのバッファサイズを増やす必要があります。

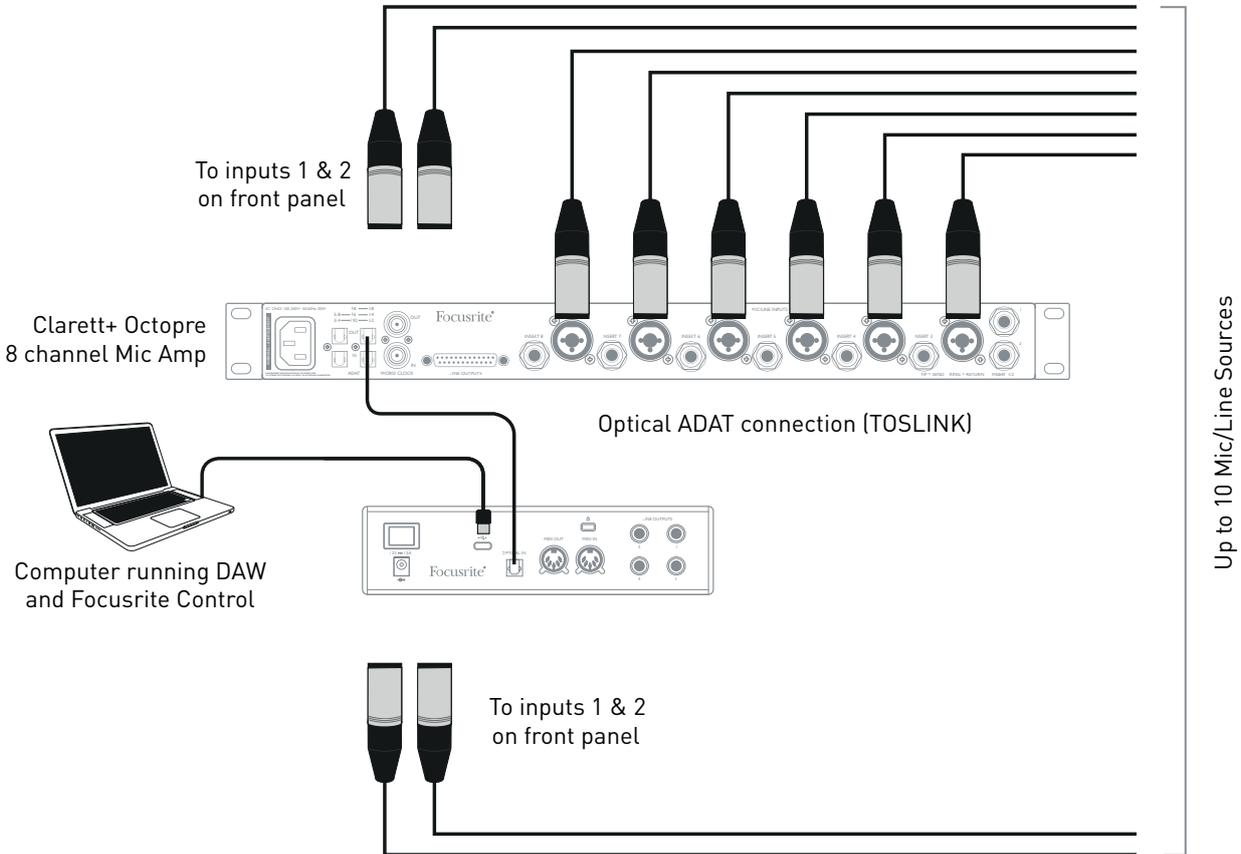
バッファサイズが低すぎると、オーディオのグリッチ(クリックやポップ)が生じたり、またはDAWで異常なCPU負荷がかかってしまうことが多々あります(多くのDAWではCPUの使用状況が確認できます)。Macでこれが生じた場合は、DAW内の設定画面でバッファサイズを高く設定でき、また、Windowsの場合は、DAWの**環境設定***からアクセスできる**ASIOコントロールパネル**でバッファサイズを高く設定して、この問題を回避できます。

Clarett+ 2Preを**Focusrite Control**と併用することで「低レイテンシーモニタリング」が可能となるため、このレイテンシー問題を解決できます。入力信号をClarett+ 2Preのヘッドフォン出力とライン出力に直接ルーティングでき、ミュージシャンはコンピュータの再生を聴きながら、超低レイテンシー、つまり「リアルタイム」で自身の演奏をモニターすることができます。コンピュータへの入力信号は、この設定によっていかなる影響も受けません。ただしこの場合は、ライブ入力信号に対してソフトウェアプラグインを適用したエフェクト音をリアルタイムにヘッドフォンモニターすることはできませんのでご注意ください(エフェクト音の録音は可能)。

*一般的な呼称 - DAWによって異なる場合があります

2. オプティカル接続の使用

Clarett+ 2Preは、2つのアナログ入力に加え、ADAT入力ポート (**OPTICAL IN**) を備えています。このポートでは、44.1/48 kHzのサンプルレートで8系統、88.2/96 kHzで4系統のオーディオ入力を追加できます。Clarett+ OctoPreなどのADAT出力を搭載する8チャンネルマイクプリアンプを別途使用することで、Clarett+ 2Preの入力機能を簡単に拡張できます。

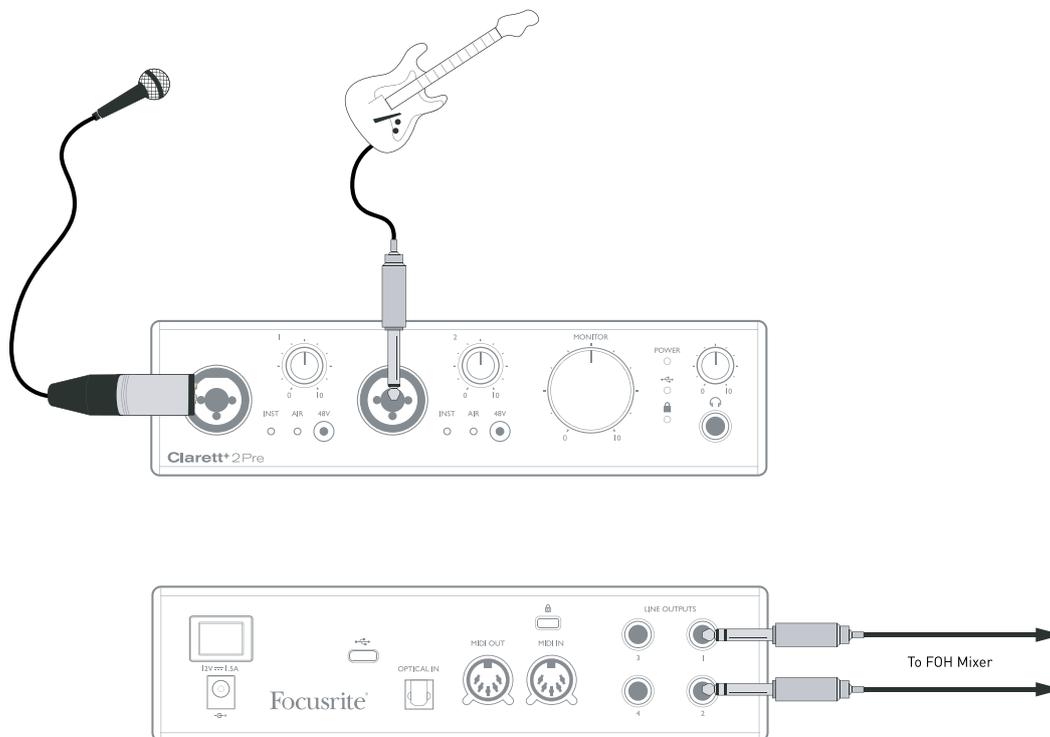


上図では、1本のTOSLINKオプティカルケーブルでClarett+ OctoPreの**OPTICAL OUT**ポートがClarett+ 2Preの**OPTICAL IN**ポートに接続されています。この接続でクリックやポップノイズの無いクリーンなオーディオ信号を伝送するには、2台の機器を同期させる必要があります。同期を行うには、**Focusrite Control**内の**Device Settings**タブで**Clock Source**を**ADAT**に設定し、また、両機器のサンプルレートは同一にする必要があります。

ADAT入力信号は、他の信号と同様、**Focusrite Control**でルーティングが可能です。必要に応じて、ミュージシャンに送信するヘッドフォンミックスにADAT入力信号を加えることもできます。

3. Clarett+ 2Preをステージ上のマイクプリアンプとして使用する

Focusrite Controlで行われた設定は、Clarett+ 2Pre本体内に自動的に保存され、これによりスタンドアロンデバイスとしての使用が可能となります。Clarett+ 2Preを入力ペア（マイク、ラインまたは楽器）として構成することができ、コンピュータ接続が不要なライブ環境のステージでの使用が可能になります。



上図では、マイクとギターがClarett+ 2Preの入力部に接続され、LINE OUTPUTS 1と2がメインのPAシステムに送られています。フロントパネルでマイクとギターのボリュームを個別に調整しながら演奏することができます。

FOCUSRITE CONTROL - 概要

Focusrite Controlは、Clarett+ 2Preで使用するソフトウェアで、focusrite.com/downloadsからダウンロードすることができます。また**Focusrite Control**をWiFi経由でコントロールできるiOSアプリもApple Appストアから入手できます。

Focusrite Controlでは、自由にモニターミックスを作成したり、すべてのオーディオ信号を実際の出力にルーティングすることができます。またサンプルレートやクロックソースの設定も**Focusrite Control**内で行います。

Focusrite Controlには専用のユーザーガイドが用意されており、すべての機能に関する操作手順が詳しく解説されています。focusrite.com/downloadsよりダウンロードが可能です。

CLARETT+ 2PRE技術仕様

性能仕様

| 構成 | |
|--------------|--|
| 入力 | 10:アナログ(2)、ADAT(8) |
| 出力 | 4:アナログ |
| ミキサー | 完全に割り当て可能な14イン/4アウトミキサー |
| カスタムミックス | 10(モノラル) |
| 最大カスタムミックス入力 | 18(モノラル) |
| デジタル性能 | |
| 対応サンプルレート | 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz |
| マイク入力 | |
| 周波数特性 | 20 Hz – 20 kHz、+/-<0.03 dB 20 Hz – 35 kHz、+/-<0.15 dB |
| ダイナミックレンジ | 118 dB(最小ゲイン) |
| THD+N | -110 dB@-1 dBFSおよび20 dBゲイン |
| ノイズ EIN | -129 dBu |
| 最大入力レベル | 18 dBu |
| ゲインレンジ | 57dB |
| ライン入力 | |
| 周波数特性 | 20 Hz – 20 kHz、+/-<0.05 dB 20 Hz – 35 kHz、+/-<0.15 dB |
| ダイナミックレンジ | 118 dB(最小ゲイン) |
| THD+N | -100 dB @ -1 dBFSおよび最小ゲイン |
| 最大入力レベル | 26dBu |
| ゲインレンジ | 57dB |
| 楽器入力 | |
| 周波数特性 | 20 Hz – 20 kHz、+/-<0.04 dB 20 Hz – 35 kHz、+/-<0.15 dB |
| ダイナミックレンジ | 116dB |
| THD+N | -96.5 dB @ -1 dBFSおよび最小ゲイン |
| 最大入力レベル | 15dBu |
| ゲインレンジ | 57dB |

| ラインおよびモニター出力 | |
|-----------------------------------|--|
| 周波数特性 | 20 Hz – 20 kHz、+/-<0.02 dB 20 Hz – 35 kHz、+/-<0.02 dB |
| ダイナミックレンジ出力(1~2) | 124 dB |
| THD+N出力(1~2) | -106 dB |
| 最大出力レベル(0dBFS) バランス ライン/TRS 出力 | 18 dBu |
| ヘッドフォン出力 | |
| 周波数特性 | 20 Hz – 20 kHz、+/-<0.06 dB 20 Hz – 35 kHz、+/-<0.07 dB |
| ダイナミックレンジ | 118dB |
| THD+N | -104 dB |
| 最大出力レベル | 16 dBu |

物理的特性と電気的特性

| アナログ入力 | |
|--------------------|---|
| コネクタ | コンボ XLR ソケット:フロントパネルの Mic/Line/Inst |
| マイク/ライン切替 | 自動 |
| ライン/楽器切替 | Focusrite Control 経由 |
| ファンタム電源 | 各入力部の +48V スイッチ |
| アナログ出力 | |
| メイン出力 | 4 x リアパネルのバランス 1/4 インチ TRS ジャック |
| ステレオヘッドフォン出力 | フロントパネルの 1/4 インチ TRS ジャック |
| メインモニター出力レベルコントロール | フロントパネル上 |
| ヘッドフォンレベルコントロール | |
| その他の入出力 | |
| ADAT入力 | TOSLINK オプティカルコネクタ: 44.1/48kHz の場合 8チャンネル 88.2/96kHz の場合 4チャンネル |
| USB | USB 2.0タイプCコネクタ x 1 |
| MIDI入力 | 2 x 5ピン DIN ソケット |
| 重量および寸法 | |
| 幅 x 奥行 x 高さ | 210mm x 161mm x 55mm / 8.27インチ x 6.34インチ x 2.17インチ |
| 重量 | 1.11 kg |

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関するお問い合わせは、Focusriteヘルプセンターsupport.focusrite.comにアクセスしてください。

著作権表示と法定通知

Focusrite、Clarett、OctoPreは、米国およびその他の国におけるFocusrite Audio Engineering Ltd.の登録商標です。

ADATは、米国および他の国におけるinMusic Brandsの登録商標です。

iOS、iPhone、iPad、App Storeは、米国およびその他の国や地域で登録されているApple Inc.の商標です。

USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

Thunderboltは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。

2021 © Focusrite Audio Engineering Limited.無断転用禁止。